

日大生のやってみたいを実現するプロジェクト成果報告書

2019029

プロジェクト名 ミニかまくらだけでなく、日大生の心にも「明かり灯し」たい

プロジェクトの概要

秋田県横手市の伝統的なお祭りの中に、雪まつりがあります。この雪まつりの中で、川沿いに約3500個のミニかまくらを作成し、作ったミニかまくらの中にろうそくで火を灯す「明かり灯し隊」という方々の手助けをしました。

プロジェクトの結果・成果

当初の予定では、県内外出身者20名程度で参加し、ミニかまくらづくりへの貢献を目指していましたが、最終的には県内外出身者総勢10名での活動となりました。祭りを成功させるため、若者不足解消のため、本学学生が参加した今回のボランティアは、非常に重要なものであると感じることが出来ました。

県内出身者は、若者不足の現状を再認識することで、どのように秋田と関わっていけば地域に貢献できるのかを考えるきっかけになったと思います。秋田を離れても帰郷した際に「地域活動に貢献する意識」や、県外に居るときには、「秋田をPRする意識」が重要であることを感じる事が出来たものと思います。実際に参加してみないことには、上に挙げた二つの意識を強く感じることは難しいと思うので、今回実際に参加してくれた県内出身者には、今後も様々な活動を通して県内外から秋田を盛り上げてもらいたいと思いました。また、日本大学の学生だけではなく、他大学の同年代の若者も巻き込むことが一番大事であると感じたため、他大学の学生も巻き込んで、秋田を盛り上げるために一つになって活動して行って欲しいと思います。

県外出身者は、若者の人手不足が問題となっている地域での活動を通して、地域活性化のためには若者の力が必要不可欠であることが認識できたと思います。縁もゆかりもない地域での活動でしたが、今回のボランティアに参加することで、自分たちの地域でもできることはないかどうか考えるきっかけを得ることが出来たと感じています。

今回のボランティア活動は、地域活性化に重要なものが若者の力であること、少人数でも祭りに携わることで大きな力となること、地域を活性化させたいという気持ちに出身地は関係ないということなど様々なことを学べたと思います。また、翌日の新聞(添付資料1参照)にも大学名と共に掲載していただき、本学をアピールすることにもつながったと思います。

活動写真

